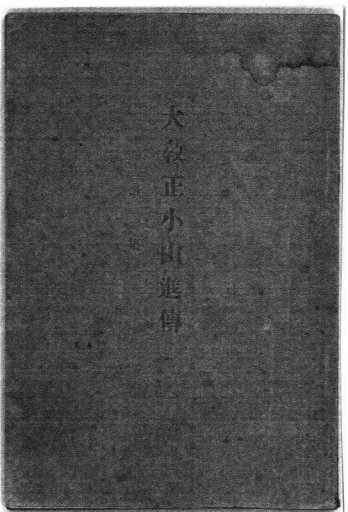


小山進 おやま 歌人、神官。天保七年十一月九日信濃國水内郡飯山生れ、
明治四十二年十月四日歿（八三―九〇）。字重陽、初名忠太郎。號似
風。慶應二年江戸に出く小島將滿（相樂總二）、榎田直助、落合直亮
等と交はる。四年爲羽伏見の戦い官軍に従ひ、郷導隊に入りも脱して
京に赴く。明治二年判法官となり、次で外務省に轉ず。外務大丞丸山
作樂の種太北征の掣に従ひ、翌年函泊巡按掛を拜命。文書司在職中、
作樂、柳原義光等と『柯太概覽』五十八巻を編纂、専ら進の執筆に懸
る。六年官を辭して神官となり、壹岐國住吉神社權守司兼中講義を始
めとして累進、大教正となりた。

歌集『布毛翁能落葉』（大正九年刊）、足利幸太郎著『大教正小山進
傳』附「歌集」『（昭和十四年一月一日長野・私家版）がある。



大教正小山進傳